

神奈川・相模原の市民グループ

4月の統一地方選挙前に、神奈川県相模原市の市民グループが、現職市議の能力などを採点した「通信簿」を作成し、話題を呼んでいる。52人中14人を「不可」「落第」と判定。市議からは「公平を欠く」との不満も聞かれるが、グループでは「公約に言及せず、議会改革の意欲がない議員は低い評価になった」とする。「行政の追認機関」とやゆされることもある地方議会に今、何が求められているのか。グループの取り組みを追った。(東京支社・井川恭一)

現職市議52人の「通信簿」作成

議会改革へ採点厳しく

通信簿を作成したのは「聴しよう」と同会を発成、07年と市議の通信簿を作成、公表してきた。12年前だ。市議をよくなる会。1月末に4千部刷り、市内の公民館などに置いた。反響は大きく、通信簿を閲覧できるホームページにもアクセスが殺到。発行後1週間で5千件を超えて選に合わせた2003、会を手分けして傍聴。①に、市議ごとに3つの線の延伸問題などへの取

公約言及なく「落第」

「公平欠く」と不満の声も

基礎的能力の議会での質、公約を飲んで、本会議や問内容③公約言及度④議事録の程度触れた場内の態度⑤改革意欲・かをチェックしたが、全問題意識1など9つの観点、質問しない議員もい点に基づき採点した。1た。00点満点で、50点以下、もう一つは改革意欲のは「不可」、30点以下は落第された。特に、重鎮とさ第」としたが、同会によれるベテランや保守系会と評価の低い議員には、派は改革に消極的な傾向いくつかの共通点がある。一つは公約への言及が「議会基本条例制定など」と分析す。一方、最高の88点を取った小林正明さん(63)は相模原市に編入合併された旧城山町長を務め、現を持ってほしい」と話しはは市議1期目。二般

「一方、最高の88点を取った小林正明さん(63)は相模原市に編入合併された旧城山町長を務め、現を持ってほしい」と話しはは市議1期目。二般

「議員基本条例制定済み」とされた市議からは不満の声も上がった。自治体議会改革フォーラムによると17日現在、野市議会も調査特別委員会を設け、検討を始めて



相模原市議員の「通信簿」

「私語ややし、居眠りが多く、論戦も低調だった」。代表の赤倉昭男さん(74)らが、そんな市議の姿を疑問視し「議会の本来の役割は行政の監視。緊張感を持ってもらうため、議会を傍



自治体議会改革フォーラム代表

広瀬 克哉 法政大教授に聞く



議員間の討議で能力向上

△(東京)は、改革の鍵にボヒリズム(人気取り)に議員同士の自由な討議の市長が出てきたときに「市民参加」「情報公開」を掲げてきた。代表を務める広瀬克哉・法政大教授(52)は行政学、自治体学に、議会改革の在り方を聞いた。一議会の役割の重要性をに注目してきた。条例に基

「財政難や人口減少時代の中、従来通りの自治体運営は立ちゆかない。どこを確保し、我慢するかの判断が、政治の要となる。議決権や提案権があるのに、首長だけに責任を押し付けるような議会では名古屋のようか。」「多くの議会では、議案をつき議会報告会を開き、住民の注文を聞き、政策を調べる。特に首長派の議員は案をできなくなる。議会の力も上がってくる。」「改革は進んでいるけれど、先送りとなっていた。新潟市は昨年12月の市議会議員定数削減が先決だ」と主張し、先送りとなっていた。

「自治体間の差が大きくなっている。徳島県の小松島市議会は政策評価を始め、北海道福島町議会では、各議員の活動ぶりが見えるよう、1年の目標を年々の初めにそれぞれ掲げ、結果も自己評価し、公開している。」「条例をつくっても、理念ばかりのブックセラー点ばかりの意味がない。年々市民が話し合う場がない」と強調し、早期制定を要望している。